

No.8

# 高等部 数学科 1段階 Dデータ活用

単元名:「咲笑際でいろいろな製品を売ろう」

Rさんの本時の個別の指導目標（数学科1段階Dデータ活用）

② 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するためにグラフを読み取り、考察することができる。（思考力・判断力・表現力等）

<枠を越えた力：問題発見・解決能力>

○ 物事の中から問題・疑問を見出し、学習で得た知識から解決方法を探して、結果を予測し試行錯誤をしながら、問題の発見・解決に必要な力を身に付ける。

## 資質・能力を育むための指導のアイデア

## 【指導と評価の一体化】

### 教材

- ・手元で、比較しながら分かりやすい、見やすいグラフ
- ・作業学習で扱った商品、売上げ等を活用して、自分たちの活動からイメージしやすいようにする。

- ・各教科等を合わせた指導として、作業学習で、特に必要に応じて合わせていることを意識し、「数学科」として、指導を行う。
- ・数学科担当の教師と連携した授業の展開。

### 指導

### 単元構成

- ・単元前半で売上げの割合を予想し、結果を計算する等、実感のある繰り返し学習が効果的。
- ・数学科での関連が必要。数学で学び、さらに作業学習で繰り返し学ぶというスタイルの確立。

<単元研究会のあと…>

今後の紙すき班としてもグラフや割合を使用し、それを日常的に触れる機会を設けたいです。また、データやデータ以外の所も含め、問題に気付くこと、問題を解決していくことに向き合うことができるような授業の進め方や言葉選びをしていきたいです。

